

予報期間 8月23日から8月29日まで

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 台風第18号については最新の台風予報を参照。
- 25日は、低気圧がカムチャツカ付近に進み、低気圧から前線が北日本付近にのびる。太平洋高気圧が東日本、西日本付近に張り出す。
- 26日から27日にかけて、低気圧が北日本付近を東へ進み、前線が北日本から東日本付近に南下する。
- 28日から29日にかけて、高気圧がオホーツク海を南へ移動し、低気圧が中国東北区を東へ進む。

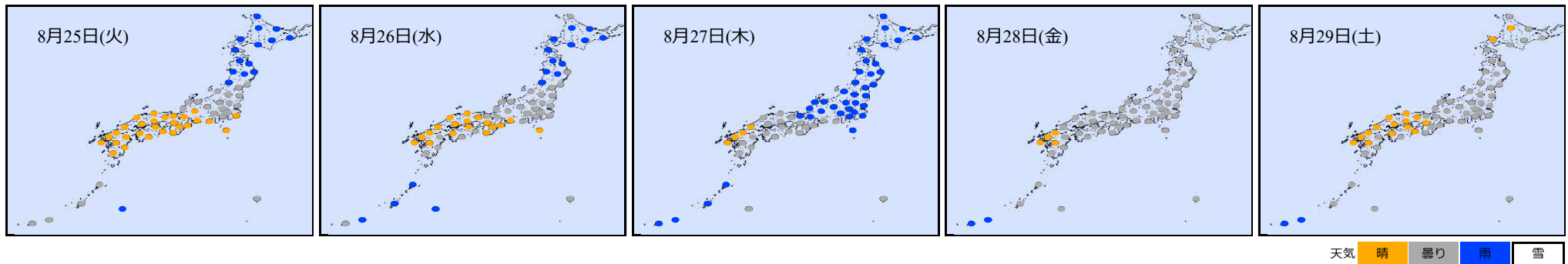
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 北日本と東日本日本海側では、25日から27日頃にかけて前線の活動の程度等によっては、警報級の大雨となるおそれがある。
- 沖縄・奄美では、27日頃にかけて、台風第18号の影響で大荒れ、大しけとなり、台風の進路等によっては警報級の大雨や高潮となるおそれがある。
- 西日本と東日本では、気温が平年より高くなり、最高気温が35度以上となる所がある。熱中症など健康管理に注意。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

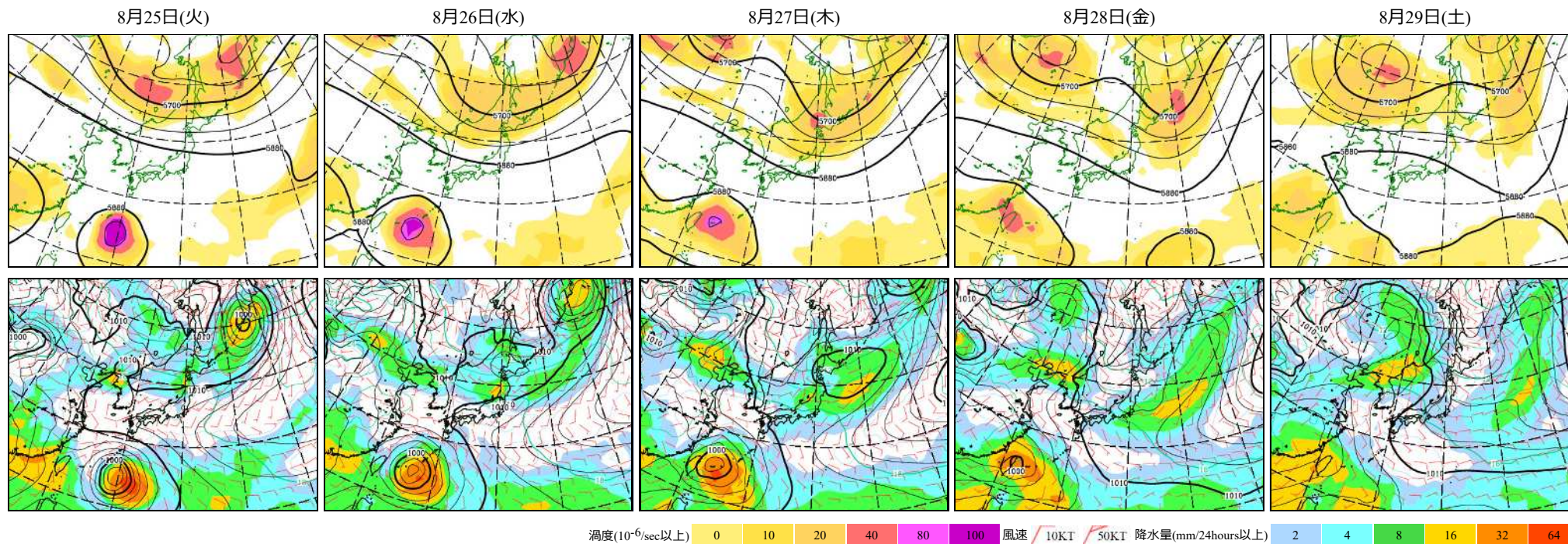
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

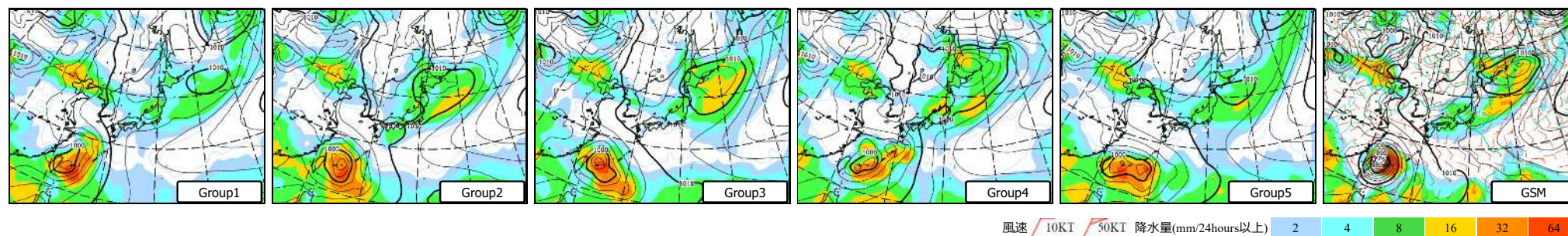


- 北日本は、曇りや雨の降る日が多いが、29日は晴れる所がある。
- 東日本は、曇りや晴れる日が多いが、27日は雨の降る所がある。
- 西日本は、晴れや曇りの日が多い。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆8月27日のENSクラスター平均(グループ1～5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、26日から27日にかけて北日本付近を低気圧が進み、前線が東日本付近に南下する傾向が強まったが、低気圧の位置や勢力についてはばらつきが見られる。
- スプレッドは比較的小さいが、期間の後半は特定高度線のばらつきが見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明後日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。